

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 9 日 (2021.9.9)

【公開番号】特開 2020-166952 (P2020-166952A)

【公開日】令和 2 年 10 月 8 日 (2020.10.8)

【年通号数】公開・登録公報 2020-041

【出願番号】特願 2019-63817 (P2019-63817)

【国際特許分類】

H 0 1 R 4/50 (2006.01)

H 0 1 R 31/08 (2006.01)

H 0 1 R 11/32 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 4/50 A

H 0 1 R 31/08 Z

H 0 1 R 11/32

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 27 日 (2021.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

[バスバー 5 0]

図 4 に示すように、バスバー 5 0 は金属板材を所定の形状にプレス加工することにより形成される。金属板材としては、銅、銅合金等、任意の金属を適宜に選択できる。バスバー 5 0 は、後方に延びる複数（本実施形態では 1 1 個）のタブ 5 2 と、タブ 5 2 の前端部を、中継部 5 3 を介して連結する連結部 5 4 と、を有する。タブ 5 2 は、左右方向に扁平な板状をなしている。連結部 5 4 は、上下方向に扁平な板状をなしている。中継部 5 3 は、連結部 5 4 から後方に延びて形成されている。中継部 5 3 の右側縁は下方に折れ曲がって、タブ 5 2 に連なっている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

図 4 および図 5 に示すように、中継部 5 3 の後端部は、タブ挟み突起 3 3 の前端部に前方から接触する位置決め部 5 5 とされる。バスバー 5 0 がキャビティ 2 9 内に前方から挿入されたときに、位置決め部 5 5 がタブ挟み突起 3 3 の前端部に接触してバスバー 5 0 が後方に移動することが抑制され、バスバー 5 0 がハウジング 3 0 内の所定の位置に位置決めされる。位置決め部 5 5 はタブ 5 2 よりも前方の位置に形成されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 4】

図 8 に示すように、ハウジング 30 のキャビティ 29 内に、後方から端子 12 が挿入される。端子 12 の金属ランス 21 がハウジング 30 のランス係止孔 22 に前方から係止することにより、端子 12 が後方へ抜け止め保持される。バスバー 50 のタブ 52 が端子 12 の筒部内に挿入される。タブ 52 と、弾性接触片 19 とが接触することにより、タブ 52 と端子 12 とが電氣的に接続される。これにより、複数の端子 12 がバスバー 50 を介して電氣的に接続される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0083

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0083】

ハウジング 30 の内部と外部とを連通させる上側開口部 32 A および下側開口部 32 B から、治具 45 等がハウジング 30 内に挿入され、スライド部 16 を移動させることができる。これにより、ジョイントコネクタ 10 の製造作業を効率化できる。また、上側保護壁 49 A および下側保護壁 49 B によってバスバー 50 が上方および下方から覆われているので、バスバー 50 を異物との衝突から保護することができる。